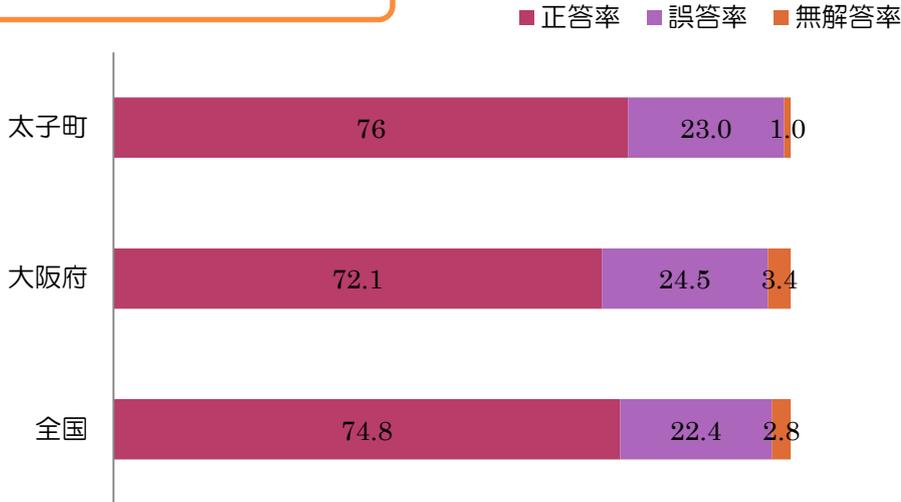


平成 29 年度 全国学力・学習状況調査

国語 A

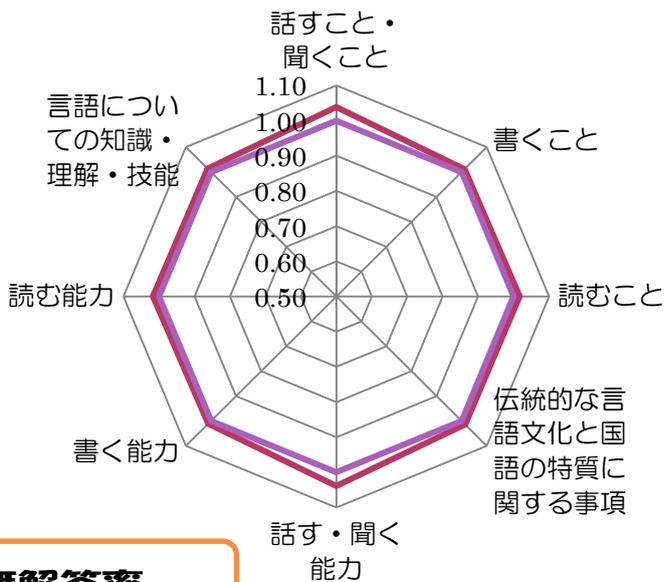
正答率比較



全国の平均正答率が74.8%であるのに対し、太子町の平均正答率は76.0%であり、1.2ポイント上回った。

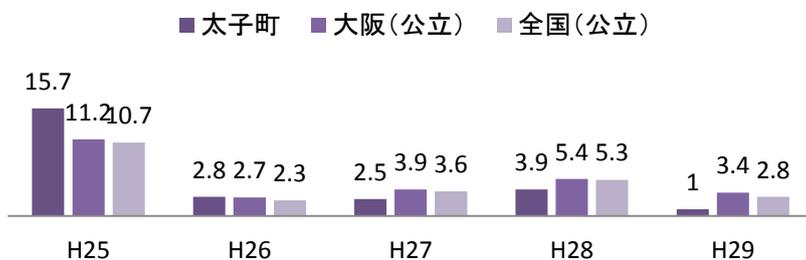


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



全般的に全国平均を上回ることができた。特に「話す・聞く」の項目においては全国平均を上回り、対話を重視した授業改善の成果が見られる。「読む・書く」の項目においても学力が定着していくよう授業改善をすすめたい。

無解答率



無解答率は平成 26 年から大きく減少し、平成 29 年度は過去最小値となった。問題に取り組む姿勢や最後までやりぬくことができる力がついてきたようです。



成果と課題

全体的に全国平均を上回ることができた。学級での話し合いにおいて互いの意見や考えを整理する問題や、古文や俳句の問題で正答率が高かった。日頃の学習活動での経験や体験が知識の定着に大きく結びついているようである。課題として、漢字を書く問題で誤答率が高かった。特に「参加たいしょう」のように、しっかりと意味を理解しながら他の同音異義語に惑わされないように日々学習する必要があると考えられる。

